



さかぐち多美子 活動ニュース

原水爆禁止2025年世界大会 (長崎大会)に参加しました

広島と長崎の被爆から80年目の今年、8月4日～9日まで、被爆地広島と長崎で原水爆禁止世界大会が開催されました。本大会は、原爆投下によりこの世の地獄を経験し、「もう二度と同じ体験を世界の誰にもさせてはならない」との被爆者の切実な願いと、「核兵器と人類は共存できない」「核兵器で平和と安全は守れない」との訴えを世界に発信するものです。

私と奥村県議は原水爆禁止和歌山県協議会代表団32人の一員として長崎大会に参加しました。

「核も戦争もない世界へ」 さらに運動を強めていきたい

被爆80年という節目に行われた大会は、日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことや、核兵器禁止条約の広がりを「希望の光」として、いまこそ核も戦争もない世界へと取り組みを強める覚悟を感じるものでした。

現地に赴くことの大切さも実感しました。当時の惨状を被爆者から直接聞かせていただき、映像資料や記録を目にするたびに底知れない恐怖と怒りを覚えました。

「ノーベル平和賞」の受賞理由は、核兵器の非人道性を訴え、核兵器を二度と使わせないという国際的な世論を築き、戦後約80年戦争で核を使わせなかったというものでした。被爆の実相を広げることがいかに大切かがわかります。もし1発でも核兵器が使われたらどんなことが起こるのか、誰もがリアルに想像できるよう、長崎で感じた恐怖を広く伝えることが大会に参加した使命だと痛感しました。

世界の反核運動について対談するフォーラムにも参加しました。唯一の戦争被爆国である日本が、「なぜアメリカの方ばかり向いているのか」「なぜアジアに開かないのか」と他国から言われ、世界の会議で「日本の姿がない」と言われるのは恥ずかしいことだと思います。「変化は自分たちで起こさなければいけない」という言葉が飛び交いました。80年の被爆者の教訓をしっかりとつかんで、みなさんと一緒に「核も戦争もない世界へ」さらに運動を強めていきたいと思っています。

日本共産党和歌山市議会議員 坂口多美子



長崎市民会館体育館前 奥村・坂口(8/7)



被爆体験の継承と未来-被爆80年長崎のつどい-(長崎市民会館体育館 8/7)

☆ 無料生活相談所 ☆

医療や福祉・くらし・法律などお気軽にご相談ください。

＜場所＞さかぐち多美子相談所
和歌山市西庄 274

＜時間＞平日の午後1時30分から
午後4時まで受け付けています

＜電話＞073-454-0538

ご意見など、お気軽にお寄せください
連絡先：日本共産党和歌山市議団073-435-1113